

# 平標山～ヤカイ沢

記 T野

2019年4月6日

メンバー : T野・N井・T山



1か月ぶりの山スキーである。3/2に大沢下りの最初の登りでシールが滑って前のめりに転倒し右手親指を骨折して4週間のギブス生活。先週ようやくギブスは取れたが、相変わらず指は曲げるとかなり痛い。ということで本調子にはまだ程遠いが、比較的短時間で遊べるここ、ヤカイ沢ならきっと今の私でも楽しむことができるだろうと思い計画した。

まずはメンバー募集だが、この週は複数の山スキー計画が出ていて微妙な感じ。しかし、嬉しいことにN井さんとT山さんがエントリーしてくれて天気予報もまずまず、復帰戦としてはいい感じで始められそうな気がしてきた。では報告です。

前夜は月夜野ICで高速を降りて湯宿温泉近くにある「道の駅たくみの里」で仮眠。ここはテントが必要だが、雨は防げる場所があり、国道から離れているため、静かなのがよい。さらにこの先にローソンがあるので、朝食も暖かいものが食べられる。月夜野方面からのアプローチには仮眠場所としてはまあまあお奨めです。

群馬側は雪が少なく心配だったが火打峠に着くと十分な雪があって一安心。6:55出発、最初は除雪された別荘地を行くと、すぐに除雪は終わりシール歩行。穏やかな沢沿いに登り、山の家に行く夏道と分かれヤカイ沢に入る。しばらくは緩斜面を行く。風は強そうだが天気は良くヤカイ沢の全景が望め、楽しそうな斜面を物色しながら登る。雪は硬く雪崩の心配はなさそうだが、風が強いのがネックで、このまま雪が緩まないとヤカイ沢滑降は急斜面なので滑落の危険がある。最悪往路を辿るか雪が緩みやすい南面の笹穴沢源頭の滑降も頭の中に入れて最終判断は山頂で行なうことにして登る。

■写真上 ヤカイ沢全景。真ん中のデブリの右側の広い斜面を滑った。

■写真中 平標山山頂にて。

■写真下 西ゼン源頭と巻機山。

傾斜は徐々に急になり、樹林帯をジグザグに登っていくと尾根に出て、苗場山方面の視界が開けてくる。まあ、何回も来ているのでこの景色にも大きな感動はないが、まだ冬の姿の苗場山はさながら白亜の巨大船体を彷彿させ登高意欲がわく。さらにこの尾根を登るとやがて夏道のある尾根と合流、



右手に笹穴沢源流を見ながら夏道のある尾根を登る。笹穴沢はすでに雪が緩んでいて、もしヤカイ沢が雪が硬く滑降が危険ならここを滑ろう、と思いながら登っていく。やがて10:55山頂着。風は強いが谷川連峰や越後の山も望め、西ゼンを滑っていくパーティーが見える。

ヤカイ沢を視察しに行くと、雪はまだ硬いがエッジも効くので滑降可能と判断し、ヤカイ沢滑降を決定する。少しでも気持ちの良い斜面を・・・と思い、エントリーポイントを探したが結局、N井さんが決めた少し松手山方面に回り込んだところをエントリーポイントにする。

いざ滑降！！雪質はまずまずで快適に落ちていく。1500m位までは気持ち良く一気に滑るが、そこから先はストップ雪、足にくる滑りとなる。それでも傾斜は緩くなるので余裕をもってターンをすれば特に技術的な問題はない。問題があるとすれば私の運動不足からくる脚力的な問題・・・1ヶ月ぶりの山スキーでやはり足にくるのが早い。長く一気に滑ることができないので太ももの筋肉と相談しながら短く切って滑る。傾斜がほぼなくなってくれば徐々に左寄りに滑っていき行きのトレースと合流。後はトレースを絡めてのんびり流して滑れば除雪終了点、やはり下りは早い。山頂から約1時間で火打峠の車に到着。時間が早いので満天の湯でゆっくり温泉に浸かり、ラーメンハウスでボリューム満点の味噌チャーシュー麺と餃子をいただき順調に帰京した。

■写真上 苗場山をバックにヤカイ沢を滑降するN井さん。

■写真中 ヤカイ沢の大斜面を滑降するT山さん。

■写真下 同じく苗場山バックに滑降するT山さん。

#### ■コースタイム

火打峠 (6:55) ~ (10:54) 平標山 (11:12) ~ (11:20) エントリーポイント (11:35) ~ (12:30)  
火打峠